

ハンチのビルド材を展開し組立図を出力したい！ パラメーターで設定することが出来ます。

【ファイル】 - 【パラメーター】 をクリックします。

【データ作成】 - 【37. 柱、梁作成関連】 - 29) 垂直ハンチプレート展開 ビルド材 の設定を『4-プレート展開』に設定しパラメーターを保存します。

項目名称	設定値
25 梁剛性手基準位置	2 - 梁芯
26 垂直ハンチ外基準	2 - 柱面
27 仕口に取り付くピン梁の位置	3 - 接続部材面(下位互換用)
28 垂直ハンチプレート展開 ロール材	2 - 鋼材-三角プレート展開
29 垂直ハンチプレート展開 ビルド材	4 - プレート展開
30 鋼材・三角プレート位置(mm)	30
31 鋼材・プレート2枚位置(mm)	30
32 ウェブハンチ設定	【16, 0.4, 0.3】
33 垂直ハンチ合せ(mm)	125
34 欠配時間継手距離	1 - 実長
35 欠配時間継手位置	1 - 上面
36 梁欠配基準	1 - 梁欠配
37 けた梁高さ	3 - 柱芯
38 梁転び	4 - 垂直(梁)※開始側
39 フランジ角面取り基準	2 - ウェブ板厚面
40 フランジ角面取り間隔(mm)	0

【加工図・型紙・帳表】 - 【加工指示書】 をクリックします。

【展開材】 をクリックし加工図を出力してください。

＜パラメーター設定後＞

No	出力済み	区分	工区	階	節	部材名	符号名	サイズ	材質	全長	分類
1		ブラケット	A工区	RSL	1	RG2	RG2-1L	BH-300x	SS400	650	<無>
2		ブラケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-2L	BH-351	SS400	650	<無>
3		ブラケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-2R	BH-351	SS400	650	<無>
4		ブラケット	A工区	RSL	1	RG2	RG2-3L	BH-351	SS400	650	<無>
5		ブラケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-3R	BH-351	SS400	650	<無>
6		ブラケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-4L	BH-351	SS400	650	<無>
7		ブラケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-4R	BH-351	SS400	650	<無>
8		ブラケット	B工区	RSL	1	RG2	RG2-1R	BH-377	SS400	650	<無>
9		ブラケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-1R	BH-400	SS400	650	<無>
10		ブラケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-2L	BH-400	SS400	650	<無>
11		ブラケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-2R	BH-400	SS400	650	<無>
12		ブラケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-3R	BH-400	SS400	650	<無>
13		ブラケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-4L	BH-400	SS400	650	<無>
14		ブラケット	B工区	2SL	1	2G2	2G2-4R	BH-400	SS400	650	<無>

S/F 部材材種がBHの場合、マスター登録時にプレート展開部材の設定をすることができ、『1-パラメーター参照』以外の設定をする場合はマスターの設定を優先し展開方法が決まります。

プレート展開部材	1 - パラメーター参照
ハンチWEB形状種類	1 - パラメーター参照
梁側WEB幅	2 - 鋼材扱い
ハンチWEB梁側	3 - プレート扱(V鋼材符号)
	4 - プレート扱(W型紙図番)

S/F ハンチ部分に三角プレートの設定をしたい場合はパラメーターの設定【データ作成】 - 【37. 柱、梁作成関連】 28) 垂直ハンチプレート展開 ロール材、29) 垂直ハンチプレート展開 ビルド材 の設定を『2. 鋼材・三角プレート展開』もしくは『3. 鋼材・プレート2枚展開』に設定して頂き、ウェブ切り込み位置の設定は 30) 鋼材・三角プレート位置(mm)、31) 鋼材・プレート2枚位置(mm)で設定を行ってください。